

「ロボット月探査の計画の愛称」の募集結果について

平成 22 年 7 月 29 日

1. 募集期間

平成 22 年 5 月 28 日(金) ～ 6 月 17 日(木)

2. 寄せられた愛称の総数

21 人／団体 から 43 件

3. 応募頂いた愛称及び分類

応募いただいた愛称については、以下のとおり分類した。

グループ 1: 月探査の内容をイメージしたもの等

グループ 2: 物語、神話、伝説などをイメージしたもの等

4. 「ロボット月探査の計画の愛称」の募集結果 内訳

分 類	内 容	件 数
グループ 1	月探査の内容をイメージしたもの等	21
グループ 2	物語、神話、伝説などをイメージしたもの等	22
	合 計	43

5. 懇談会メンバーからの愛称(案)

「うさぎ姫計画」、「かぐやひめ(姫)計画」、「たけとり計画」、
 「竹取物語計画」、「ちゃれんじ 2020 計画」、「月・ふろんていあ計画」、
 「まほろば計画」、「まほろばプラス計画」、「もちづき計画」、
 「ラビット計画」

愛称募集結果 グループ内訳

	応募いただいた愛称
グループ1 月探査の内容をイメージしたもの等	「月降下面計画」 「月鎮祭計画」 「月面スーパーハイビジョン計画」 「月面都市 平成京」 「月面ライフワーク計画」 「GB-Moon(Get Back Moon)」 「第七大陸」 「 <u>ちゃれんじ2020計画</u> 」 「つきなみ計画」 「月の架け橋計画」 「 <u>月・ふろんていあ計画</u> 」 「月未来計画」 「てらみっばら計画」 「サムライ・ムーン計画」 「日・進・月・歩計画」 「ふじ2020計画」 「ムーンアドベンチャー計画」 「ムーンアライブ計画」 「ムーンベースプロジェクト」 「ムーンロボット計画」 「やまと2020計画」 「ルナフロンティア計画」 「ロボルナプラン」
グループ2 物語、神話、伝説などをイメージしたもの等	「いざよい計画」 「 <u>うさぎ姫計画</u> 」 「おきな計画」、「翁計画」 「かぐや計画」 「 <u>かぐやひめ計画</u> 」、「かぐや姫計画」、「かぐや姫探査計画」 「カグヤガーデニング計画」 「かぐやの庭計画」 「かぐや夢プラン」 「月光計画」 「セレーナ計画」、「SELENE」 「たけとり計画」、「竹取り計画」、「 <u>竹取物語計画</u> 」 「月うさぎ計画」 「つくよみ計画」、「ツクヨミ計画」 「プロジェクトなよたけ」 「マヒナ計画」 「 <u>まほろば計画</u> 」、「 <u>まほろばプラス計画</u> 」 「ムーンライト計画」 「 <u>もちづき計画</u> 」 「夜空に見上げる文明計画(月夜見計画)」 「ライトムーン計画」 「ラビット計画」

アンダーラインは、懇談会メンバーからの提案

愛称募集結果

(五十音順)

愛称	読み方、説明等
いざよい計画	大和言葉でうまく命名していただければ、薄れ行く大和言葉を子どもたちに伝えることもできて素敵だなと思います。期待しております。
うさぎ姫計画	—
おきな計画	月探査ということから、月に帰って行った「かぐや姫」を探しに「竹取りの翁」が訪ねて行くという意味から、この名前を考えました。
翁計画	月探査ということから、月に帰って行った「かぐや姫」を探しに「竹取りの翁」が訪ねて行くという意味から、この名前を考えました。
かぐや計画	前回のかぐや(Selene)から続く、一連の開発計画として、戦略の連続性及び前回のかぐやの成果の意義を、広く国民に周知してもらうため。また、衛星自体の名称は、次回がかぐや-2、その次がかぐや-3...とし、連続した一連の開発計画であることを示してほしい。
カグヤガーデニング計画	—
かぐやの庭計画	—
かぐやひめ計画	もとより「かぐや姫」は 10 世紀半ばごろまでに書かれたと言われる『竹取物語』の主人公である。月から来て月へ還った。「かぐや姫」は月に住むという「ウサギ」とともに、月と日本人を結ぶ象徴的存在である。2007 年に打ち上げた日本の月周回衛星「かぐや」は、関係者の投票で第一位の得票を得たものだが、『竹取物語』の「かぐや姫」からとられたものである。
かぐや姫計画	月探査ということから、月に帰って行った「かぐや姫」を探しに行くという意味から、この名前を考えました。 「かぐや」が発展して、かぐや姫というロボットが月で活躍するという話の流れは自然です。(この場合ロボットは女性ということになります)
かぐや姫探査計画	(かぐやひめたんさけいかく)
かぐや夢プラン	説明:かぐや姫のふるさとである月の夢を広げる計画。
月光計画	(げっこうけいかく) 意味: 月の光は、太陽の光とともに人間の時の流れを支配している天空の恵みです。太陽光の反射にしかすぎませんが、人間が直接見ることのできる貴重な宇宙です。これから始まる探査計画は月に光をもたらすと同時に、月から地球に向け人類に新しい光(=未来)をもたらしてくれると言う意味をこめて、提案いたします。
月降下面計画	(げっこうかめんけいかく)
月鎮祭計画	—
月面スーパーハイビジョン計画	詳細 http://gimpo.2ch.net/test/read.cgi/av/1275398542 スーパーハイビジョン 8192X4320 Part.15
月面都市 平成京	—
月面ライフワーク計画	—
サムライ・ムーン計画	未知なる月を一刀両断する勢いで解明する計画を象徴する名称
GB-Moon	月へ送ることに反対だが、もし送るとなったら、『Get Back Moon』略して『GB-Moon』シャレで元気爆発とも読めます。
セレーナ計画	セレーナは月の女神を意味するギリシャ語。
SELENE	Selenological and Engineering exploration (セレーネ) いわずもがな、我が国の月探査計画「かぐや」の正式名称です。私は、本計画に参加した者ですが、確かにその面での思い入れはあることはありますが、

	<p>その意味がとても素晴らしく是非、今後のロボット探査計画についても、その名称を続けていっていただきたいと強く願う者です。</p> <p>SELENE(1号)は、正式名称を、Selenological and Engineering Explorer と言います。「月の理学と工学に関する探査機」という意味でした。最後の Explorer を Exploration とさせていただければ、と思います。</p> <p>宇宙探査は、我が国の技術力、科学力の粋を集めたものです。それらを可能にされた、諸先輩方の意志を受け継いで、我々は月探査、宇宙探査をより発展させていかなば、と思っています。宇宙探査に限らず、優れたプロジェクトの成功の鍵は、実際にそうしたプロジェクトに携わってきて思うに、重要かつ独創的な研究視点を持つ理学的動機と、それを可能にする優れた技術工学力の、密接な関係です。SELENEは、まさに理学・工学の研究者が一体となって、この名に恥じない成果を挙げようと努力し、かつまだ道半ばながらも、成果を挙げつつあるのだと思っています。</p> <p>実際に、10年以上の長きにわたる SELENE 開発は苦難の歴史でした。理学的研究の必要性和、工学的実現可能性の常なるぶつかり合いでした。これは、決して表に出てくることのない現実です。やがて、理学サイドは工学的技術に対しても提案をいい、工学サイドはその必要性を下手法研究者以上に理解しようとし(また多くの参加研究者の中には、同時に二つのサイドが同時に巣くったりするのによくあることですが)、その結果、互いに納得する結論をだして、共に目標に向かって開発を進めてきました。そうした互いの信頼に基づく、本音で語れる関係において、進められた計画だからこそ、機器はそれに応え、多くの新しい発見などにつながるデータを 40 万 km の彼方より、21 ヶ月の長きにわたって、送ってきてくれたのだと思います。</p> <p>以上のような理由があって、是非、この名を末永く使っていただきたいと思い、ロボット月探査計画の愛称候補にも是非忘れずに挙げていただきたいメールさせていただき次第です。</p> <p>なお、ご存じかと思いますが、SELENE は、ギリシャ神話の月の女神の名前でもあります。日本的な名前にするのももちろん好まれるかと思いますが、SELENE の名の由来と、その 1 号機が、その名に恥じない成功を収めたことを考えれば、今後の月探査においても、やはり一つの適した名前であることは間違いのないと思います。</p>
第七大陸	<p>五大陸に南極大陸を加えて地球上に六つある大陸の次のフロンティアとして、七番目の大陸に匹敵する場所にしたい、そのフロンティアの開拓基地としたい、という願いを込めて「第七大陸」としました。</p> <p>「第七大陸計画」「第七大陸前線基地」とか、その言葉を用いていろいろな変奏が可能です。日本固有の「かぐや」などもすぐれた名称ですが、月探査計画を国際プロジェクトとして発展させていくことを視野にいれ、訳しても意味の通じる名称が良いと思います。遅かれ早かれ人類は月に進出し、生活圏となるでしょう。そのときに、基地の名称とともに、さきがけとして基地を作った日本のことが歴史に記されると思います。</p>
たけとり計画	<p>月探査ということから、月に帰って行った「かぐや姫」を探しに「竹取りの翁」が訪ねて行くという意味から、この名前を考えました。</p>
	<p>「かぐや」も含めた壮大な月探査計画を「竹取物語」にたとえる。</p>
竹取り計画	<p>月探査ということから、月に帰って行った「かぐや姫」を探しに「竹取りの翁」が訪ねて行くという意味から、この名前を考えました。</p>
竹取物語計画	<p>—</p>

ちゃれんじ2020計画	2020年に向けてのチャレンジングな計画という意味。政府のプロジェクトにありそうな名前ですが。
月うさぎ計画	—
つきなみ計画	これほどの確かな名称はないでしょう。
月の架け橋計画	月への架け橋となる壮大な計画を象徴とする名称
月・ふろんていあ計画	文字通り、月というフロンティアに立ち向かう、という意味。
月未来計画	(つきみらい) ロボット月探査計画の愛称につきましてのご提案。 名称を聞いただけで誰もがすぐに目的の分かるような、単純明快なものが良いと思いますので以下の愛称をご提案申し上げます。
つくよみ計画	大和言葉でうまく命名していただければ、薄れ行く大和言葉を子どもたちに伝えることもできて素敵だなと思います。期待しております。
ツクヨミ計画	—
てらみっばら計画 (地球見原計画)	理由: テラ(terra,地球)を見る大地
日・進・月・歩計画	「日」本独自のやり方で「進」化して「月」面を「歩」く計画を象徴する名称
ふじ2020計画	理由: 「南極域」の正解初のロボット探査という目標ということで、南極観測船と、日本をイメージする表現を考慮し、「ふじ」を提案。
プロジェクトなよたけ マヒナ計画	困難にも折れることなくしなやかにプロジェクトが進むことを祈って。 ハワイの言葉で「月」を意味します すばる望遠鏡の計画にはハワイの現地の方の尽力が大きかったと聞いています 彼らの好意に何らかの形で応えたいと思いそれでハワイの言葉を使わせて戴きました
まほろば計画	「まほろば」とは、「素晴らしい場所」という意味の日本の古語である。『古事記』中巻・景行天皇帝紀にある <u>やまとは くにのまほろば たたなづく あおがき</u> <u>やまこもれる やまとしうるはし</u> という日本武尊の和歌が有名で、日本人の心に故郷への限りない憧憬を呼び起こす懐かしい言葉である。 月の起源は、現在精力的に研究されているところであり、この日本の月探査計画においても中心的な研究目標であるが、月は、元来日本人がいにしえより慈しんできた天体であり、わが地球の人々にとっては最も近い、半ば「まほろば」的な天体であると感じられていると思われる。 現代の人類は、自分たちが抱えている深刻な環境危機を克服し、地球を「まほろば」と呼ぶにふさわしい天体にするためにこそ、宇宙からの視座を大切にするのであり、月探査の積極的推進は、月の起源がどのような意味において「まほろば」の一員であるのかを訊ねることもである。また人類がいずれの日にか月に移り住む日が到来すれば、それは本当の意味で「地球・月系」を「まほろば」にすることもあろう。
まほろばプラス計画	2010年代にこれから開始されようとしている月探査の技術的挑戦は、単に月という天体の探査にとどまらず、一つには、さらに広く太陽系探査を行うための確固とした基盤を築くものであり、また一つには、さらに高い有人飛行技術の獲得を目指すための重要なステップになりうる。それが「プラス」をつけた理由である。 Moon At Home On Robotic Base And Planetary System
ムーンアドベンチャー計画	説明: 月のムーンと冒険者のアドベンチャーを合成。
ムーンアライブ計画	—
ムーンベース・プロジェクト (あるいはムーンベース 計画)	理由: 名前の響き、「月面基地」のイメージ。

ムーンライト計画	説明:月の明かりを意味する。
ムーンロボット計画	説明:月を意味するムーンにロボットを合成。
もちづき計画	月といえばやはり「うさぎのもちつき」。それに満月の意の「望月」をかける」。
やまと2020計画	理由:日本を即座にイメージできる愛称として、「やまと」を提案。
「夜空に見上げる文明」 計画 (略称「月夜見計画」)	理由:あそこに日本の基地があると、月を見上げて常に意識してもらえる 「月夜見」は月読とも書き、アマテラス、スサノヲと並ぶ日本神話上の三大神の一で、月の神
ライトムーン計画	—
ラビット計画	これも「うさぎ」から来たもの。もうひとひねり欲しいところ。
ルナフロンティア計画	説明:イタリア語で月を意味するルナ、先進、挑戦を意味するフロンティアを合成。
ロボルナプラン	説明:ロボットとイタリア語で月を意味するルナを合成。

アンダーラインは、懇談会メンバーからの提案